



2019年5月15日
東日本旅客鉄道株式会社

ご案内ロボットの実証試験をドイツ鉄道と共同で実施します

- 東日本旅客鉄道株式会社(以下「JR 東日本」)は、1992年より実施している Deutsche Bahn AG(以下「ドイツ鉄道」)との技術交流の一環として、ご案内ロボットのユーザー評価試験を共同で実施します。
- 東京駅に SEMMI^{※1} 及び Pepper^{※2} の2種類のご案内ロボットを設置し、日本人及び訪日外国人のお客さまに対して、東京駅構内の施設や飲食店、主な場所への行き方などを多言語でご案内します。
- ロボットの外見がお客さまのご利用意向に与える影響や、AIの使いやすさ、学習しやすさなどを多面的に評価することで、お客さまに使っていただけるご案内ロボットの研究開発を進めていきます。

1. 評価試験に至る経緯

JR 東日本とドイツ鉄道はこれまで各々案内ロボットの開発を行ってきました。そこで、両社共通の課題である「お客さまに使っていただけるロボット」を目指し、タイプが異なるご案内ロボットを設置しユーザー評価試験を共同で行います。

2. 評価試験の具体的な内容

(1) 実験内容

JR 東日本とドイツ鉄道は駅構内に異なる AI を使用した SEMMI と Pepper の2種類のご案内ロボットを設置し、お客さま等にご利用いただき、アンケート調査を実施します。ご案内ロボットは日英中など多言語に対応しており、駅構内および駅周辺の道案内などを行います。両社で異種ロボットについての受容性評価及び2種類の AI の性能と運用の評価を行い、その結果を分析することでご案内ロボットの今後の研究開発に活かしていきます。



SEMMI 設置イメージ

ご案内ロボットの特徴等	
SEMMI ^{※1}	Pepper ^{※2}
ドイツ鉄道が開発してきたご案内ロボットで、今回の実証実験のため JR 東日本と共同で案内データの学習を実施。	ご案内ロボットとして日本で比較的多く活用しており、比較対象のロボットとして JR 東日本が案内データの学習を実施。
【主な特徴】 ・リアルな顔立ち ・多彩な表情 ・内照式	【主な特徴】 ・人型ロボット ・ジェスチャーによる表現 ・画面一体型



Pepper 設置イメージ

(2) 評価試験期間

5月20日(月)～5月31日(金)(土日は除く)のうち各日ともに10:30～17:00の時間帯に実施予定です。

(3) 設置場所

東京駅 地下1階 グランスタ ステーションコンシェルジュ付近